

高輝度・電子制御ラインレーザー墨出し器 ハイパワー電子レーザー LTC-X9001/X7001 取扱説明書

このたびはハイパワー電子レーザー (LTC-X9001/X7001) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくために、この取扱説明書を良くお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

機器の保全について

1. 本製品を車内に放置しないでください。
2. 屋外に放置しないでください。
3. 長時間で使用にならないときは、電池を本体から取り出しておいてください。

レーザー墨出し器 安全上のご注意

◎安全に関する重要な内容ですのでよくお読みのうえ、必ず守ってください。

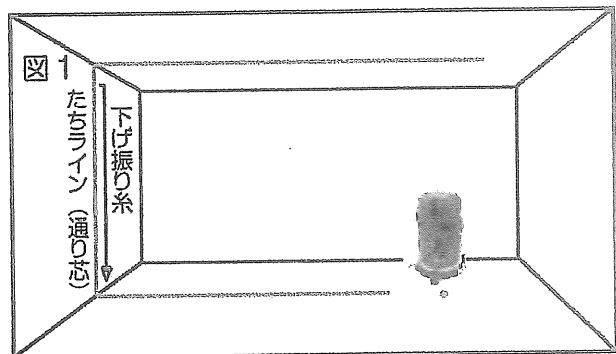
- ⚠ 注意** (誤った取り扱いをしたときに使用者が障害を負う又は物的損害が発生する可能性があります。)
1. 精密機器につき、落としたり倒したりしないでください。
 - 衝撃や振動により精度が狂う場合があります。
 2. 電池や本体を火中に投入しないでください。
 - 電池が破裂し、けがや火傷をを起こす恐れがあります。
 3. 修理は専門店に依頼してください。(ご自身で修理されたものについては、当社は保証いたしません。)
 - 本製品を改造しないでください。
 - 本体の異常に気がついたときは点検修理に出してください。
 - 修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理をすると十分な性能を発揮しないだけでなく当該クラス以上のレーザーを放射する恐れがあります。
 4. レーザー光をのぞき込まないでください。
 - 視力低下を招く恐れがあります。

ご使用前に精度チェックを！

本製品は精密機器です。振動や衝撃でたちや通り芯が狂う場合がありますので、ご使用前の次の手順で精度の確認を必ず行ってください。

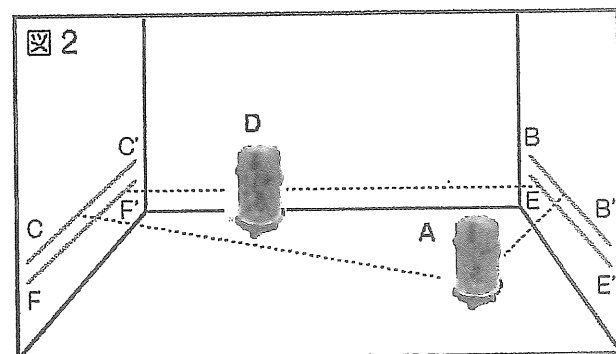
I. 通り芯のチェック (図1参照)

1. 下げ振りを壁に2m程度振り下げる。
2. 糸から約2~5m離れた水平な床に本体を置き、ライン(通り芯)を表示する。
3. 糸全体にレーザーが照射していることを確認してください。
4. もう一方のラインも同じ方法で確認してください。



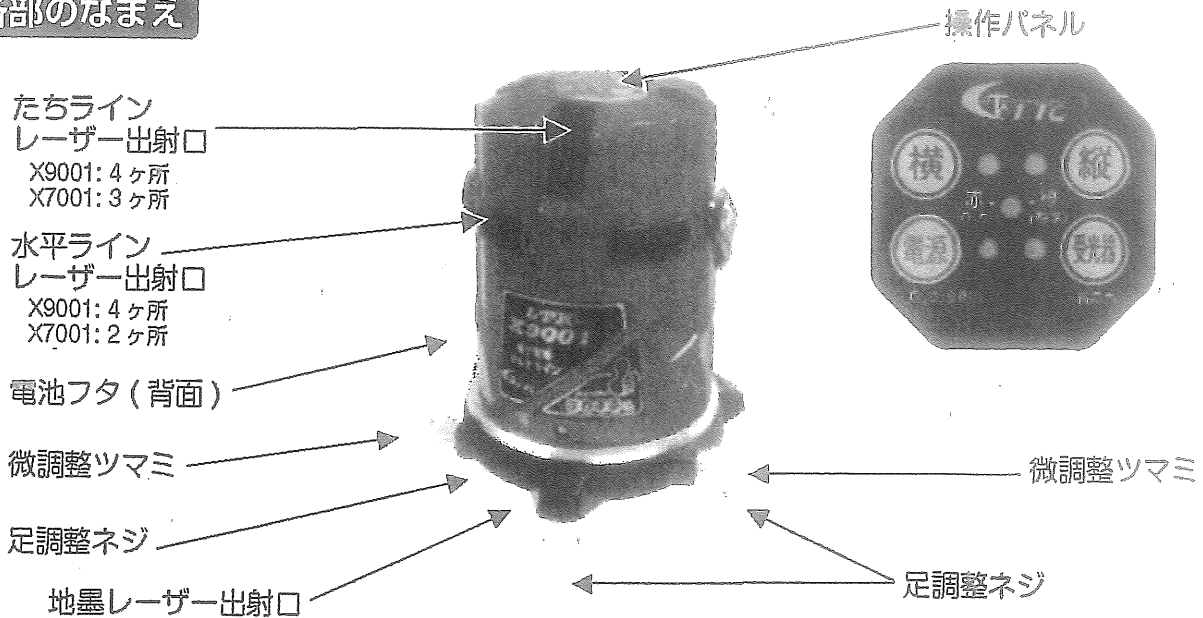
II. 水平ラインのチェック (図2参照)

1. 本体Aから BB' 点にレーザーラインを照射してマーキングする。
 2. 本体Aから CC' 点にレーザーラインを照射してマーキングする。
 3. 本体をAからDに移動する。
 4. 本体をDからBの方向にレーザーラインを照射してマーキングする。
 5. 本体をDからCの方向にレーザーラインを照射してマーキングする。
その結果、BB'、EE' と CC'、FF' の位置の差が同じであれば正常です。
- (例) BB' と EE' が3mmの差がある場合、
CC' と FF' が3mmの差であれば正常です。



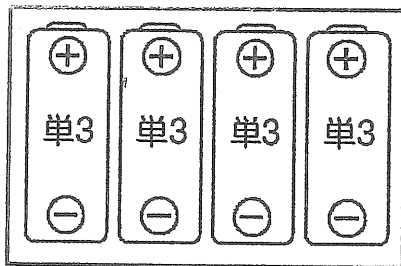
※もし上記の結果にならない場合は調整が必要ですのでお買い上げの販売店までお申し付けください。

各部のなまえ

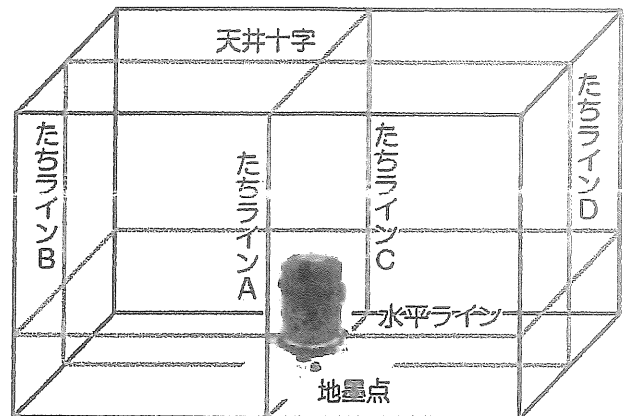


乾電池の入れ方

電池ブタを外して単3アルカリ乾電池を入れる。下図を参考にして極性+、-を間違えないようにセットしてください。



照射範囲について



※上図は X9001 の投影図です。
X7001 はたちライン A,B,D、水平ラインは正面側のみとなります。

ご使用の手順

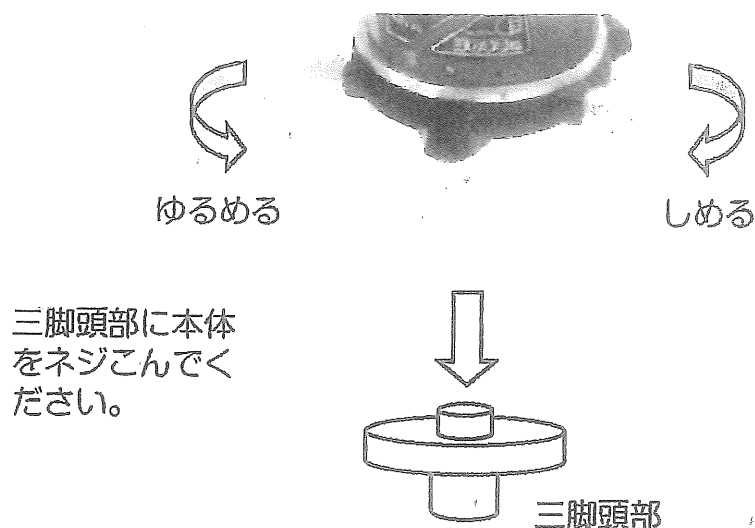
1. レーザーラインを照射する方向に向けて本体を床面に置く。
2. 電源スイッチをオンにする。操作パネル中央のLEDが点灯します。
 - 作業に必要なラインを操作パネルのスイッチにて投影させる。(各部のなまえ参照)
 - 鉛直の補正ができていない場合はレーザーが点滅して警告します。また、警告音でもお知らせします。
3. レーザー光が点滅の場合は足調整ネジでレーザー光が投影されるまで本体を水平に近づける。
4. 地墨を基準点(床墨)に合わせる。
5. 本体を回転させて必要な方向にたちラインや水平ラインを表示する。
6. 通り芯の場合、微調整つまみを使用すると大変便利です。
7. 使用後は電源スイッチをオフにします。機器は動作状態を自動的に記憶し、次に電源を入れたときに、最後に使用していた動作状態で起動します。(メモリー起動)

【ボタン操作】 電 源：メインスイッチ。1回押し：電源オン、自動補正。 2回押し：電源オフ。
縦1回押し：両たちライン、地墨点点灯。 縦2回押し：全たちライン、地墨点点灯。
縦3回押し：全たちライン、地墨点消灯。
横1回押し：広角水平ライン点灯。横2回押し：全周水平ライン点灯。横3回押し：消灯。
受 光 器：受光器を使用する場合、または省電力モードで使用する場合に押す。
ロック機能(ライン固定)：斜め出し等の場合は電源スイッチを長押しします。中央のLEDが赤点灯。

※操作パネル中央のLEDが緑色の場合は自動整準しますが、赤色の場合はラインがロックされていますのでご注意ください。

レベル用三脚への取り付け

当社別売りのエレベータ三脚に本体を取り付ける場合は、下図を参考にして取り付けて使用してください。



屋外でご使用になる時のご注意

当社別売りの受光器を使用すると屋外でも墨出し作業ができます。屋外で使用する場合は、下記の点を必ず守ってください。

- ※本体スイッチパネルの「受光器」スイッチを押して受光器モードにしてください。受光器ランプが点灯します。
- ※受光器モードになっていないと受光器は反応しません。

- 雨の中では使用しないでください。本製品は、防水構造ではありません。
- 作業時レーザー光が点滅していないことを確認してください。屋外ではレーザー光が見えにくいいため、レーザー光が点滅したまま気付かないで墨出し作業をしてしまう場合がありますのでご注意ください。

ご使用後は

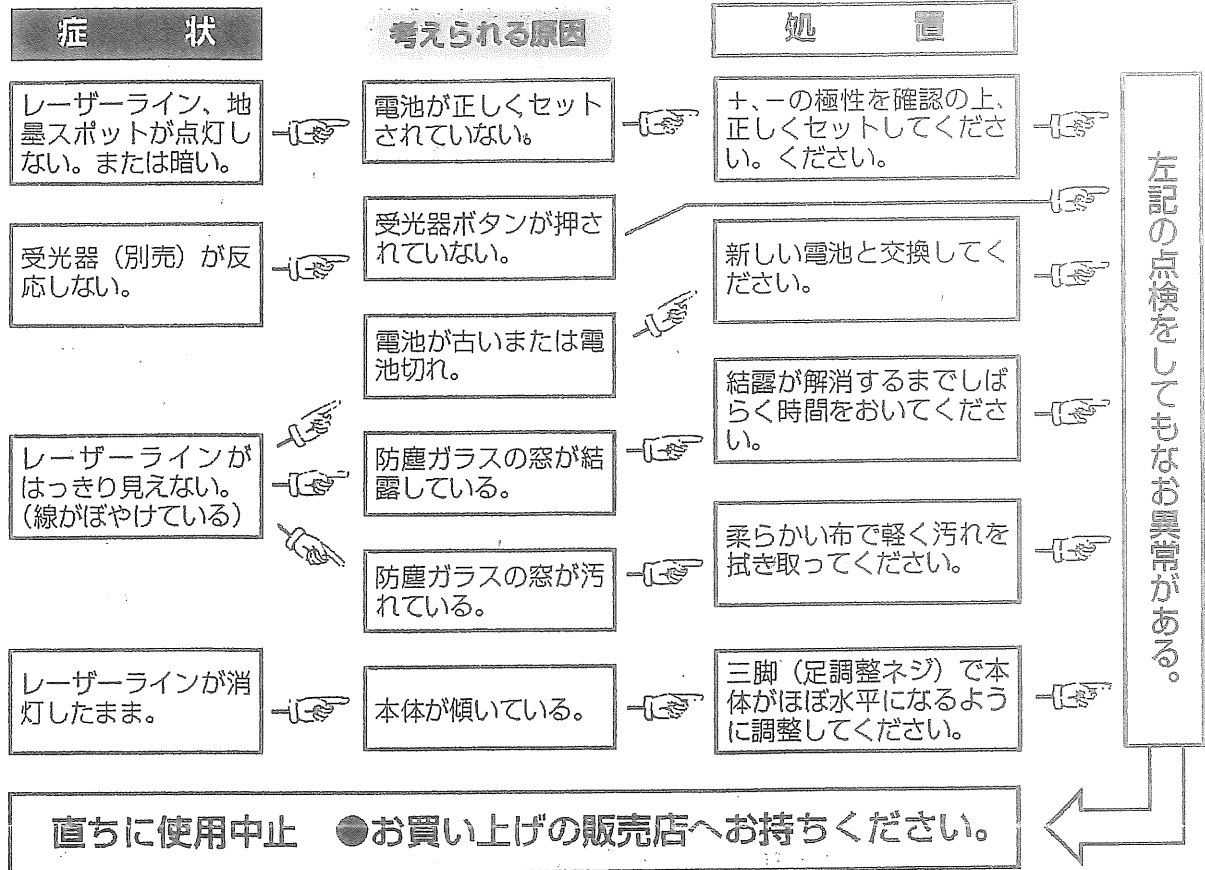
1. ジャイロ機構保護のため、電源スイッチは必ずオフにしてください。
2. 持ち運び時、収納時は必ず専用ケースをご使用ください。

お取り扱い上のご注意

1. 精密機器につき分解はしないでください。(保証対象外となります。)
2. 周囲温度 40℃以上、0℃以下でのご使用は避けてください。
3. 急激な温度変化でのご使用は避けてください。
4. お手入れにシンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。
5. 電池を交換するときは、電源スイッチを必ずオフにしてください。

故障かな？ もう一度調べましょう

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。



仕 様

光源（レーザーライン）	可視光半導体レーザー 635nm	レーザーライン指示精度	±1mm / 10m
光源（地墨ポイント）	可視光半導体レーザー 650nm	ライン幅	約 1.5mm / 5m
レーザー出力	レーザーライン：1mW以下	使用距離範囲	半径 10m
レーザークラス	クラス1M		半径 15m（別売り受光器使用時）
自動補正機構	電子水準センサー方式	電 源	アルカリ乾電池 × 4本
制動方式	モーター制御方式	連続使用時間	約5時間（9001）/ 約8時間（7001）
警告機構	自動補正範囲外はアラーム音およびレーザーラインが点滅して警告（約±3°で警告）	サイズ/重量	φ140×(H)220mm、1.8kg
		動作温度範囲	0℃～40℃
付属品	専用ケース、乾電池、ACアダプタ、レーザーメガネ		

◎ 本仕様は予告なく変更することがあります。



株式会社テクノ販売

本 社
福岡営業所
東京支店
大阪営業所

福岡県大野城市山田 2-17-20
TEL 092-588-5581 FAX 092-588-5582
東京都足立区鹿浜 3-12-11
TEL 03-5837-3052 FAX 03-5837-3053
大阪市東住吉区杭全 1-3-13
TEL 06-6714-2296 FAX 06-6714-2298

製造 株式会社LTC